

## 編集委員会



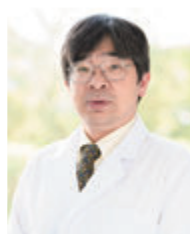
森脇 真一先生



梶本 宣永先生



上杉 康夫先生



萩森 伸一先生



寺崎 文生先生



新田 雅彦先生



津田 泰宏先生



田中 慶太郎先生



中野 隆史先生



瀧谷 公隆先生



池田 宗一郎先生

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の流行で国内外が未曾有の危機に直面し、今までの生活様式が制限され、変更を余儀なくされました。また、感染拡大より、医療・福祉の現場では、非常に厳しい状況が続いており、医療従事者の負担も増えております。学校の授業形態も大きく変化し、大学の講義はほぼ遠隔方式に置き換わりました。これにより、非常に不便を強いられた学生も多かったと思います。

学会開催についても例外ではありません。今年度の学会はほぼ遠隔形式あるいは遠隔および対面開催併用のハイブリッド形式で行われました。昨年までは想像もできなかったことです。しかしながら、ITの進歩が学会開催の転換をサポートし、さらには強力に推進しました。今回は、このような状況で、大阪医科大学の関係者により6つの学会・研究会が開催されました。それぞれの先生は、遠隔方式の利点を最大限に発揮して、工夫に富んだ学会運営をされていました。このような経験は、これから学会を主催される先生の参考になると思います。是非、本号の座談会をご一読ください。来年度以降になれば、さらに改良された方法で、学会が開催されることになるでしょう。学会開催形式が進化するに伴って、学会参加者の学修する姿勢がさらに向上することが期待されます。

編集委員 瀧谷 公隆